



平成26年9月9日
海上保安庁

「第15回北太平洋海上保安フォーラムサミット」の開催について

9月15日(月)から18日(木)まで、北太平洋地域の海上保安機関から長官級が参加する、「第15回北太平洋海上保安フォーラムサミット」が、米国・サンフランシスコで開催され、佐藤雄二 海上保安庁長官が出席します。

本枠組みは、海上保安庁が参加する多国間協力に関する枠組の一つであり、北太平洋の海上の安全・秩序の維持を目的とした参加国間の連携について協議が行われます。

1. 経緯

平成12年に当庁の呼びかけにより第1回会合を東京で開催して以降、北太平洋地域の先進主要6カ国である、日本、米国、ロシア、カナダ、中国、韓国の海上保安機関の長官級が参加する定期的な多国間会議として、各国持ち回り主催により開催されています。

本年は米国がホスト国を務めており、3月には、サンフランシスコで専門家レベルでの会合が開催されました。

本フォーラムによる活動の一環として、8月には、横浜で第7回多国間多目的合同訓練を実施しています。

2. 開催期間・場所

期 間：平成26年9月15日(月)～18日(木)

場 所：米国・サンフランシスコ

3. 参加予定機関

日 本：海上保安庁（佐藤雄二長官）

ロシア：ロシア連邦保安庁国境警備局（アレクセイエフ・ユーリー副長官）

中 国：中国海警局（ヤン・ジュン副局長）

カナダ：カナダ沿岸警備隊（マーク・グレゴアール長官）

米 国：米国沿岸警備隊（ポール・ズクンフト長官）※会議議長

韓 国：韓国海洋警察庁（キム・ヨンモ情報課長）

4 主な議題

- ・ 漁業監視共同パトロールによる成果の報告と今後の実施計画の協議
- ・ 8月に横浜で実施した第7回多国間多目的訓練の成果の報告と今後の訓練内容の協議
- ・ 各国における密輸・密航等の不法取引やセキュリティ対策に関する好事例の共有
- ・ 自然災害や大規模油等流出事故発生時の対応における連携・協力体制の確立、等